

食道・胃・十二指腸・大腸

早期がんの低侵襲内視鏡治療

当院ではこれまで消化管の早期悪性腫瘍に対して侵襲の少ない内視鏡治療 (EMR/ESD) を行っておりましたが、内視鏡治療 (ESD) を専門とするスタッフが増えたことで、これまで以上に積極的に早期悪性腫瘍 (食道・胃・十二指腸・大腸) に対する治療を行っています。

これまで高齢という理由で治療を諦めていた症例に対しても、治療適応症例であれば積極的に治療を行っています。



受け入れ可能な消化管疾患

- 内視鏡切除適応の食道腫瘍
(早期癌・異型上皮)・胃腫瘍 (早期癌・腺腫)・十二指腸腫瘍 (早期癌・腺腫)・大腸腫瘍 (早期癌・側方発育型腫瘍・神経内分泌腫瘍)
- バルーン拡張が必要な消化管狭窄
- 止血が必要な消化管出血
- 治療が必要な食道・胃静脈瘤
- 異物除去

胃粘膜下腫瘍や十二指腸早期悪性腫瘍に対してできるだけ侵襲を少なくするために、腹腔鏡・内視鏡合同手術 (Laparoscopic and Endoscopic Cooperative Surgery、LECS) も外科と合同で行っています。

また、他院で診断がつきにくかった症例に対しても拡大内視鏡・超音波内視鏡を使用し、内視鏡治療だけでなく診断にも力を入れていますので、診断に難渋している症例などがございましたら、ご紹介いただければ幸いです。

設備紹介

- ・ 内視鏡室 6 ブース / 透視室 2 ブース
- ・ 内視鏡システム : EVIS X1
- ・ 高周波手術装置 : VIO3/IES3



(写真) 内視鏡室



医療法人医誠会

医誠会国際総合病院



消化器内科

〒530-0052 大阪市北区南扇町 4-14
TEL : 0570-099166 (代表)